

特集1 防災への取り組み

大雨が降り続けると、河川の氾らん、がけ崩れ、地すべり、土石流などの災害が起こりやすくなります。災害を最小限にするために、土木部（河川課・砂防課）ではさまざまな取り組みを行っています。6月7日（日）、長崎市本河内地区で、約430名の地元の皆さんが参加し、土砂災害防災訓練を行いました。土砂災害から尊い人命を守るため、平成18年から、毎年6月の第一日曜日に、全国統一で土砂災害防災訓練を実施しています。

情報伝達活動



防災行政無線での伝言

防災行政無線により、大雨洪水警報、土砂災害警戒情報などを迅速に伝えます。

災害の危険性が高まり、避難勧告等が発令されると、長崎市では地元消防団等による伝達も行います。

警戒避難活動



土砂災害ハザードマップ

市町では、土砂災害の危険箇所・避難経路・避難場所を示した「土砂災害ハザードマップ」を作成しています。



集団での避難訓練

このマップを基に避難訓練を行い、避難経路や避難場所を確認します。

また、高齢者、体の不自由な方、幼児などに対しては、救急隊が避難の手助けを行います。

防災講習

皆さんの防災意識の向上を図るため、避難場所では、防災・救命・消火講習の外、地震体験などの訓練を行いました。



救命講習



防災講習



地震体験



消火講習

災害には、しっかりと備えましょう！

